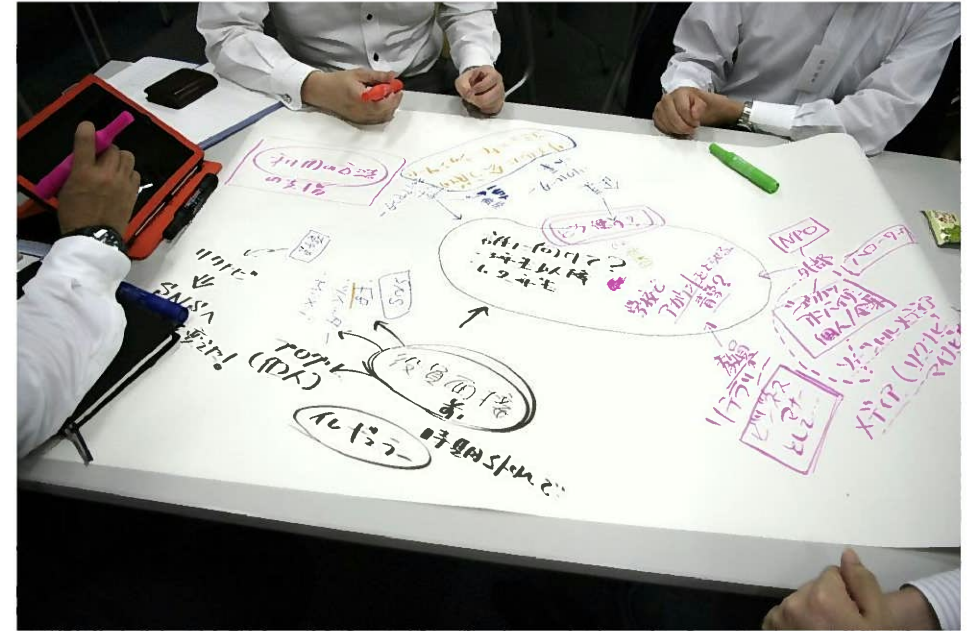


# キャリア支援者 SNS活用度 アンケート



主体的なキャリア選択のための気づきや自信を育む方法について探求します。

## キャリア支援研究会

■ 調査期間 2012年5月3日(木、祝)～2012年5月12日(土)

■ 調査方法 キャリア支援研究会の次回参加者及び、キャリア支援研究会のFacebookページ(以下、FBP)及び、キャリア支援者が集まるFacebookのグループ3つ、運営メンバーが自分のウォールに投稿

■ 有効回答数 50名

## INDEX

### 1. 回答者属性について

- (1) あなたの性別を教えてください。
- (2) あなたが該当する年代を教えてください。
- (3) 現在お住まいの地域を教えてください。
- (4) あなたが所属する組織・担当業務を教えてください。
- (5) あなたの支援対象を教えてください。(複数回答可)
- (6) あなたがキャリア支援に携わっている年数を教えてください。

### 2. キャリア支援者のSNSの活用について

- (1) SNSをキャリア支援に活用していますか。
- (2) SNSにログインしている頻度を教えてください。
- (3) 自分のプロフィールをどこまで公開していますか。(複数回答可)
- (4) キャリア支援で活用しているSNSを教えてください。(複数回答可)
- (5) Facebookをキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。(複数回答可)
- (6) Twitterをキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。(複数回答可)
- (7) google+をキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。(複数回答可)
- (8) mixiをキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。(複数回答可)
- (9) LinkedInをキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。(複数回答可)
- (10) アメブロなどのブログをキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。(複数回答可)
- (11) 「就活生や転職希望者との関係構築、情報交換」をしている方にお聞きします。具体的にされていることを教えてください。(複数回答可)
- (12) 「就活生や転職希望者との関係構築、情報交換」をしている方にお聞きします。具体的にやってみての感想がございましたら、お聞かせください。
- (13) キャリア支援ではSNSを活用されていない方にお聞きします。活用しない理由を教えてください
- (14) キャリア支援にSNSを活用されていない方にお聞きします。先ほどの回答以外にございましたら、教えてください。

## ■回答者の基本属性データ

		回答数	比率
男性		32	64.0%
女性		18	36.0%
総計		50	100.0%

10代		0	0.0%
20代		3	6.0%
30代		12	24.0%
40代		27	54.0%
50代		8	16.0%
総計		50	100.0%

北信越	1	2.0%	新潟県	1	2.0%
関東	37	74.0%	埼玉県	10	20.0%
			神奈川県	8	16.0%
			千葉県	3	6.0%
			東京都	16	32.0%
東海	3	6.0%	愛知県	2	4.0%
			岐阜県	1	2.0%
関西	7	14.0%	京都府	1	2.0%
			大阪府	3	6.0%
			兵庫県	3	6.0%
中国	1	2.0%	山口県	1	2.0%
九州	1	2.0%	長崎県	1	2.0%
総計	50	100.0%		50	100.0%

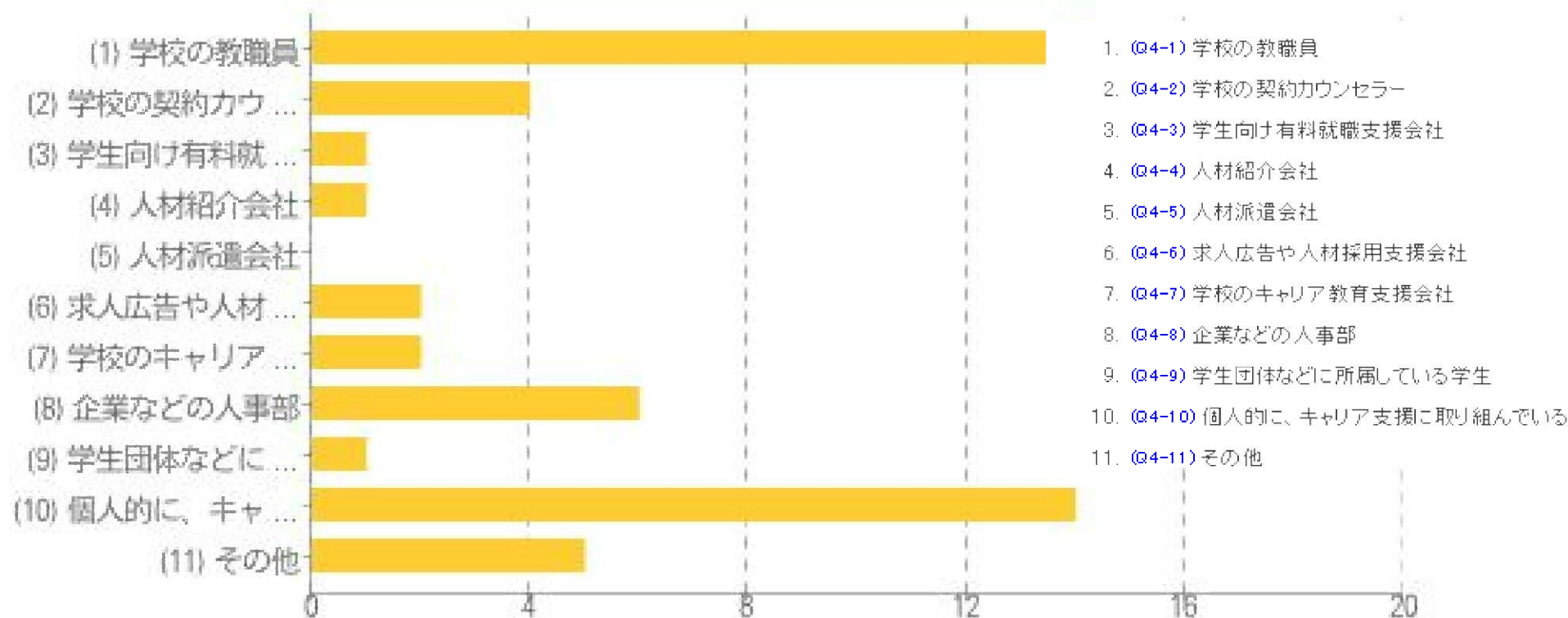
キャリア支援研究会の参加者（原則的には30・40代限定）は必須にしている為、年代別では30・40代が78%を占めた。むしろ、それ以外の年代で22%回答があったことや、関東で開催している研究会にも関わらず、地方の方々が26%回答して下さったことが驚きであった。



## ■ 設問 4 (回答者属性\_所属する組織・担当業務)

あなたが所属する組織・担当業務を教えてください。

### 回答者属性\_所属する組織・担当業務

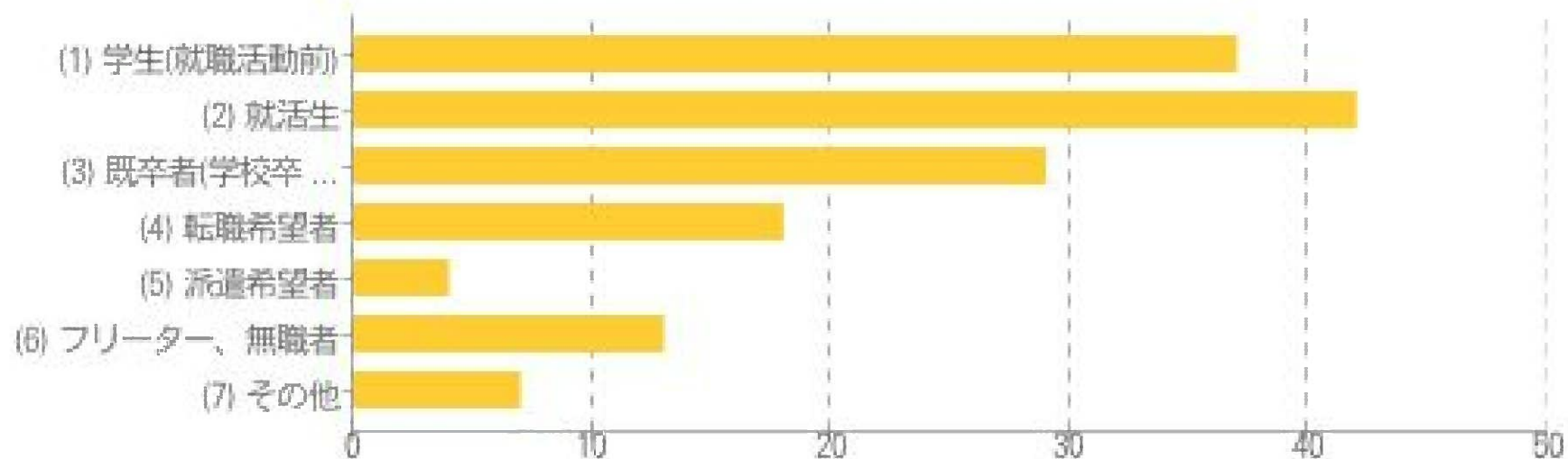


キャリア支援を行っている方々の研究会の為、学校の教職員が28%と最多数なのは想定通りだったが、個人的にキャリア支援をされている方が同数いたこと。キャリア支援を行っている外部カウンセラーが想定よりも少なかったことが驚きだった。

## ■ 設問 5 (回答者属性\_支援対象)

あなたの支援対象を教えてください。(複数回答可)

回答者属性\_支援対象

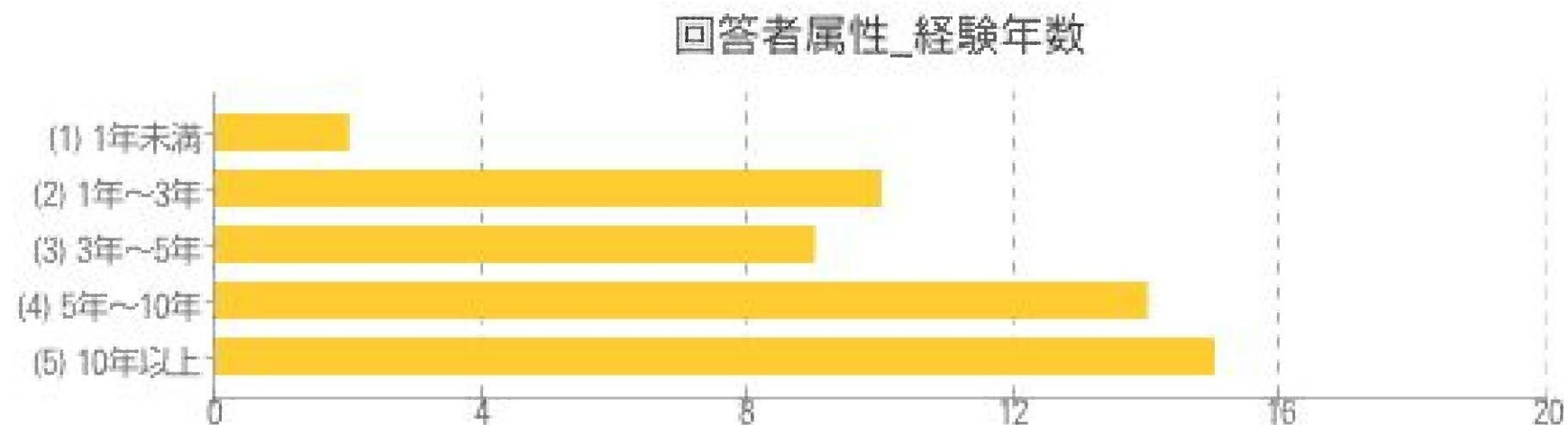


1. [Q5-1](#) 学生(就職活動前)
2. [Q5-2](#) 就活生
3. [Q5-3](#) 既卒者(学校卒業後、無職者)
4. [Q5-4](#) 転職希望者
5. [Q5-5](#) 派遣希望者
6. [Q5-6](#) フリーター、無職者
7. [Q5-7](#) その他

キャリア支援研究会が主に学生支援を対象にした研究会の為、就活生及び学生、既卒者がキャリア支援の主な対象になっていることは想定通りであった。

## ■ 設問 6 (回答者属性\_経験年数)

あなたがキャリア支援に携わっている年数を教えてください。



1. (Q6-1) 1年未満
2. (Q6-2) 1年~3年
3. (Q6-3) 3年~5年
4. (Q6-4) 5年~10年
5. (Q6-5) 10年以上

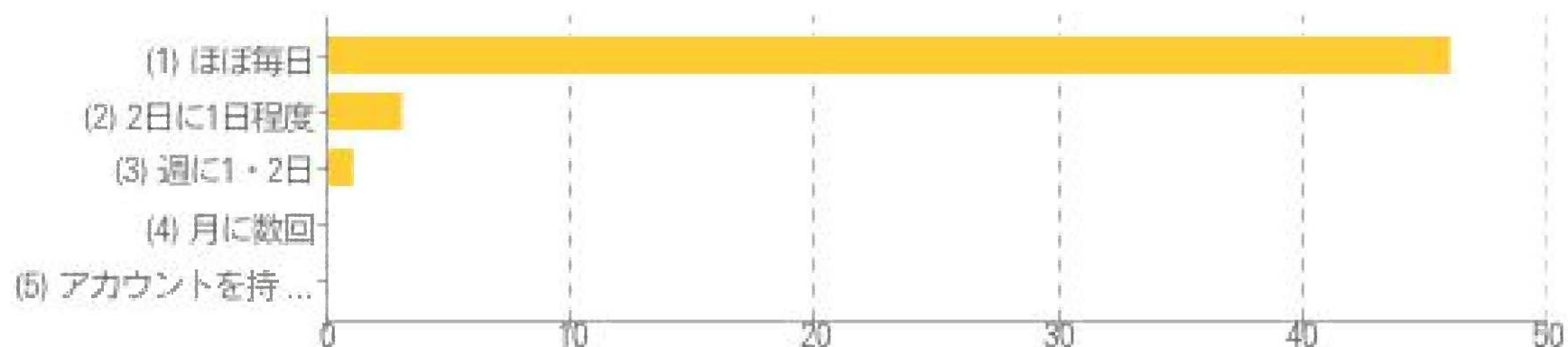
10年以上の方が30%、5年~10年の方が28%。キャリア支援研究会の参加者は、30・40代であることなどから約60%の方が、5年以上の経験者だったことは想定通り。むしろ、5年未満の方が、40%近くいらっしゃったことに驚きがあった。



## ■ 設問 8 (SNS活用度\_ログイン頻度)

SNSにログインしている頻度を教えてください。

SNS活用度\_ログイン頻度



1. (Q8-1) ほぼ毎日
2. (Q8-2) 2日に1日程度
3. (Q8-3) 週に1・2日
4. (Q8-4) 月に数回
5. (Q8-5) アカウントを持っているだけでほとんどログインしていない

ほぼ毎日ログインするという方が約90%。フェイスブックで告知をしたとはいえ、驚くべき高さであった。

## ■ 設問 9 (SNS活用度\_プロフィール公開)

自分のプロフィールをどこまで公開していますか。(複数回答可)



1. (Q9-1) 氏名
2. (Q9-2) 年齢(生年月日)
3. (Q9-3) 顔写真
4. (Q9-4) 職業
5. (Q9-5) 所属している組織

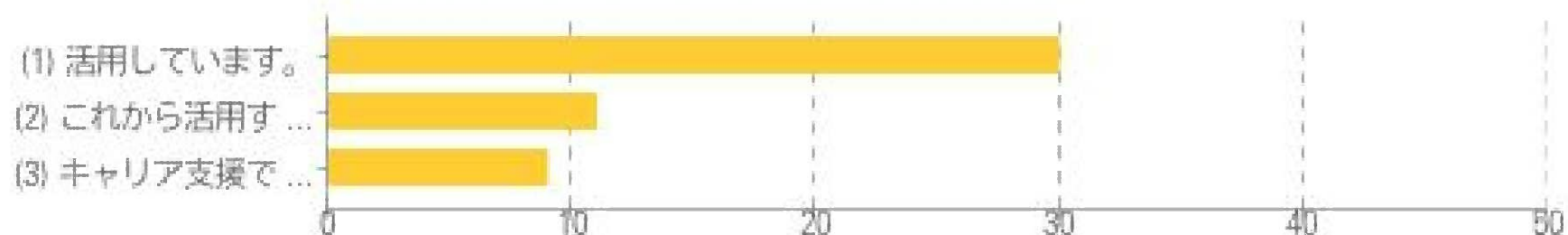
氏名・年齢・顔写真・職業という項目は80%前後の方が公開をしていた。活用する以上は、フェイスブックのポリシーは守ろうという意識の現れと捉えられるが、約10%の方が氏名を公開していない点が気になります。



## ■ 設問 7 (SNS活用度\_現在の状況)

SNSをキャリア支援に活用していますか。

SNS活用度\_現在の状況



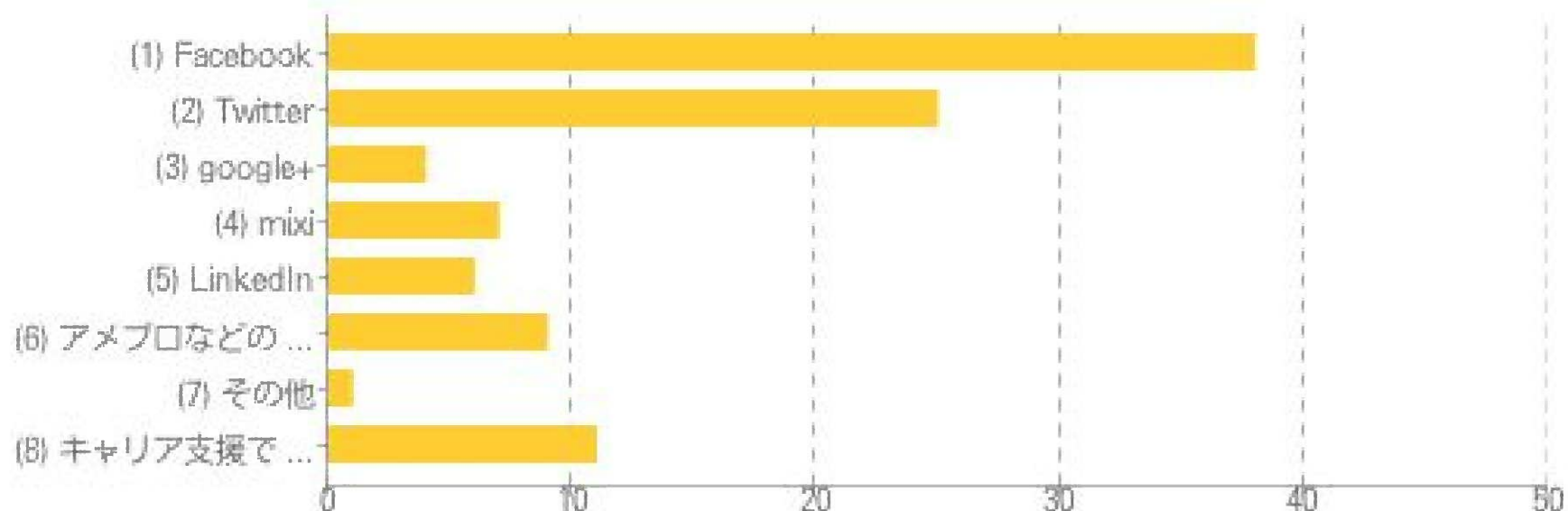
1. (Q7-1) 活用しています。
2. (Q7-2) これから活用する予定です。
3. (Q7-3) キャリア支援では活用する予定はありません。

キャリア支援にSNSを活用している人が60%。これから活用したいと考えている人が22%。合計すると82%の方がキャリア支援に活用することに前向きなようです。

## ■ 設問 10 (SNS活用度\_活用しているSNS)

キャリア支援で活用しているSNSを教えてください。(複数回答可)

SNS活用度\_活用しているSNS



1. (Q10-1) Facebook

2. (Q10-2) Twitter

3. (Q10-3) google+

4. (Q10-4) mixi

5. (Q10-5) LinkedIn

6. (Q10-6) アメブロなどのブログ

7. (Q10-7) その他

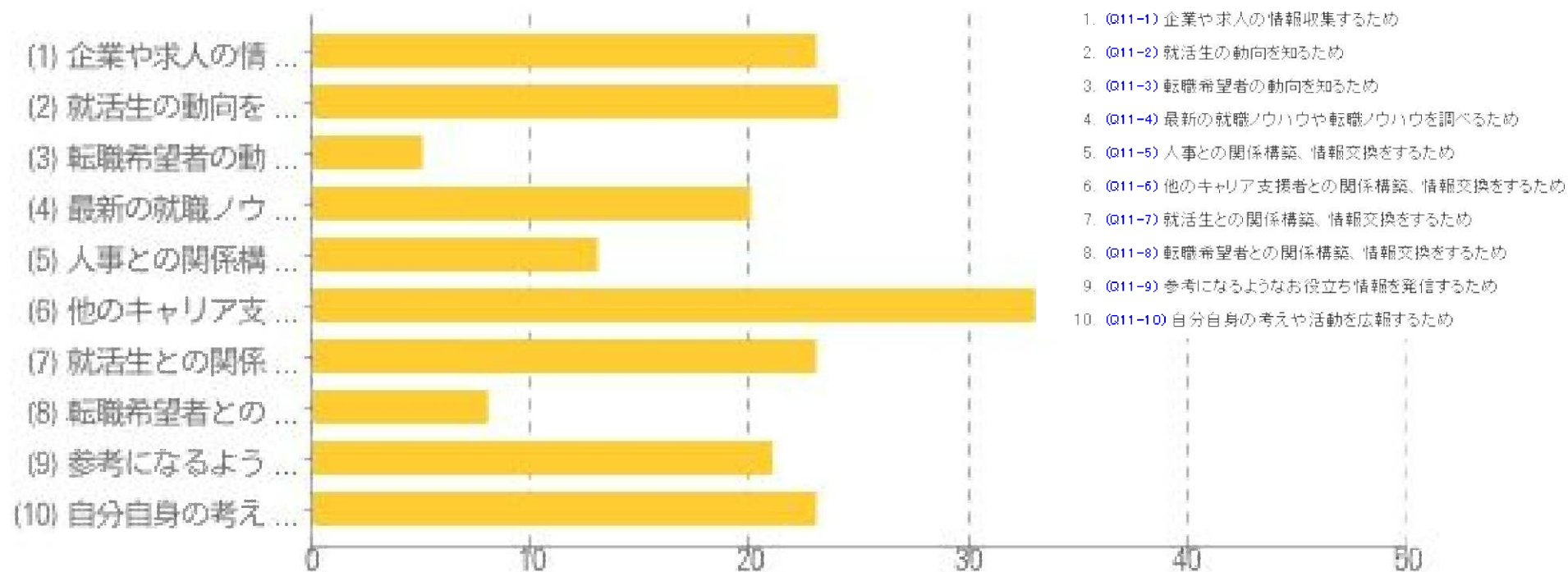
8. (Q10-8) キャリア支援では使っていない。

フェイスブックが78%。次にツイッターで50%。とその他のSNSを大きく引き離しました。フェイスブックでの告知だったことを考えると、ツイッターの活用度はこの数字以上に高い可能性があるかもしれません。  
※他項目の回答結果より、ブログは11人活用に訂正いたします。

## ■ 設問 11 (SNS活用度\_Facebook)

Facebookをキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。(複数回答可)

### SNS活用度\_Facebook



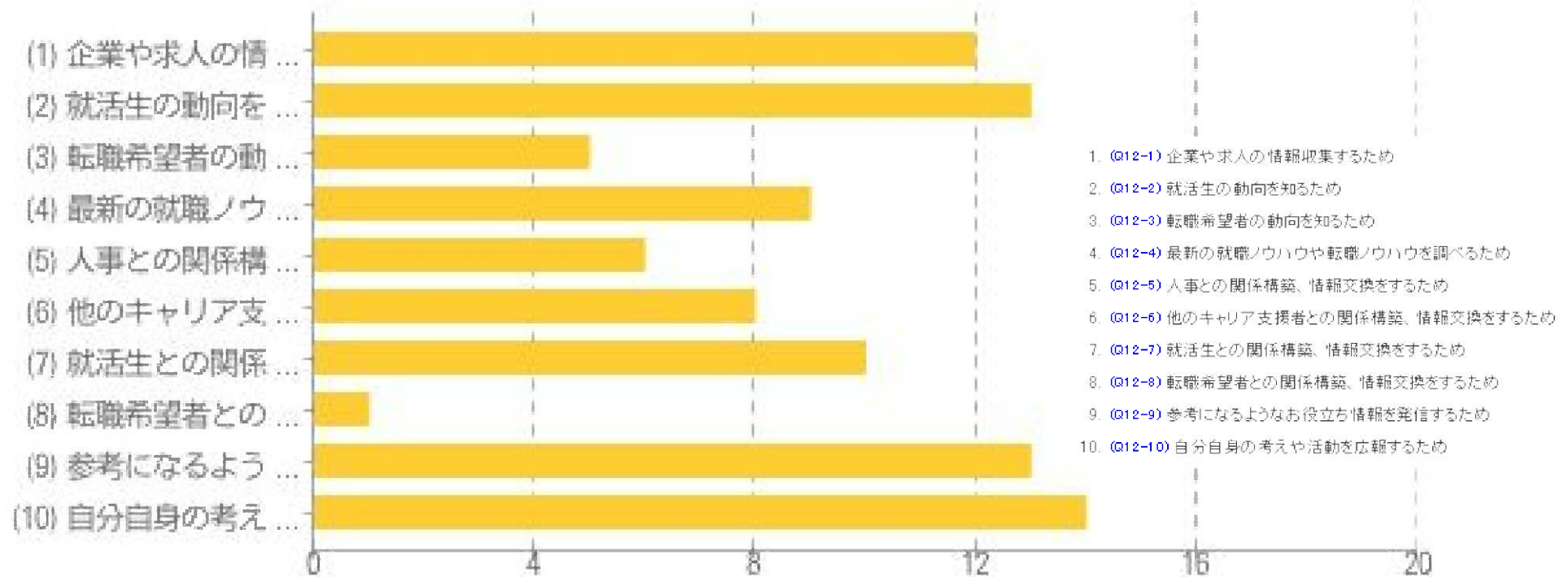
他のキャリア支援者との関係構築・情報交換目的に33の方が活用していましたが、これはフェイスブック利用者が39人の為、活用者の85%という高い数字になりました。就活生との関係構築・支援する為の情報収集・就活情報や自身の情報発信と幅広い目的で活用されていました。フェイスブックらしい活用方法と言えるでしょう。



## ■ 設問 12 (SNS活用度\_Twitter)

Twitterをキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。(複数回答可)

SNS活用度\_Twitter



ツイッターは、25の方が活用されていましたが、活用目的は割れています。自身の考えなどの情報発信、及び情報の収集という目的が半数近くと多数派となりました。フェイスブックのような関係構築を目的としている人はそれほど多くありませんでした。

## ■ 設問 13 (SNS活用度\_google+)

google+をキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。(複数回答可)



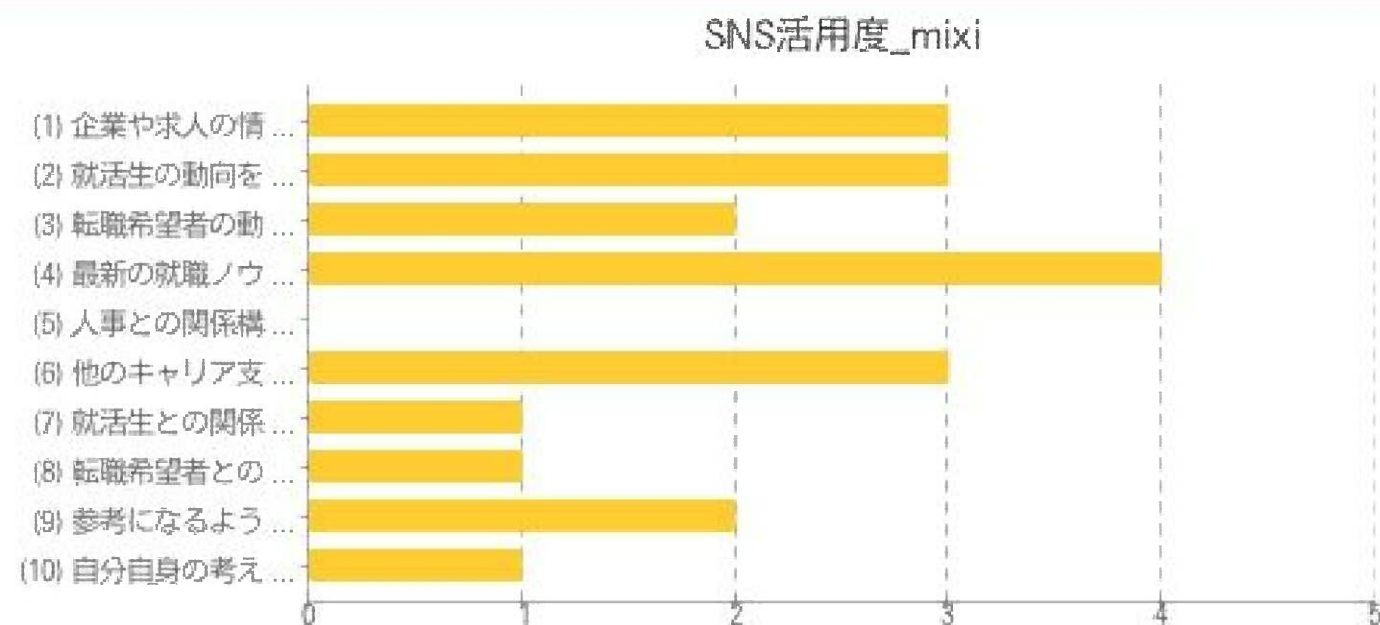
1. @13-1) 企業や求人の情報収集するため
2. @13-2) 就活生の動向を知るため
3. @13-3) 転職希望者の動向を知るため
4. @13-4) 最新の就職ノウハウや転職ノウハウを調べるため
5. @13-5) 人事との関係構築、情報交換をするため
6. @13-6) 他のキャリア支援者との関係構築、情報交換をするため
7. @13-7) 就活生との関係構築、情報交換をするため
8. @13-8) 転職希望者との関係構築、情報交換をするため
9. @13-9) 参考になるようなお役立ち情報を発信するため
10. @13-10) 自分自身の考えや活動を広報するため

グーグルプラスは、活用者が3人と少数派でした。そのせいか、情報発信に活用されている割合が少ないようです。しかし、回答数が少ない為、参考に考えたほうがいいかもしれません。



## ■ 設問 14 (SNS活用度\_mixi)

mixiをキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。(複数回答可)



1. (Q14-1) 企業や求人の情報収集するため
2. (Q14-2) 就活生の動向を知るため
3. (Q14-3) 転職希望者の動向を知るため
4. (Q14-4) 最新の就職ノウハウや転職ノウハウを調べるため
5. (Q14-5) 人事との関係構築、情報交換をするため
6. (Q14-6) 他のキャリア支援者との関係構築、情報交換をするため
7. (Q14-7) 就活生との関係構築、情報交換をするため
8. (Q14-8) 転職希望者との関係構築、情報交換をするため
9. (Q14-9) 参考になるようなお役立ち情報を発信するため
10. (Q14-10) 自分自身の考えや活動を広報するため

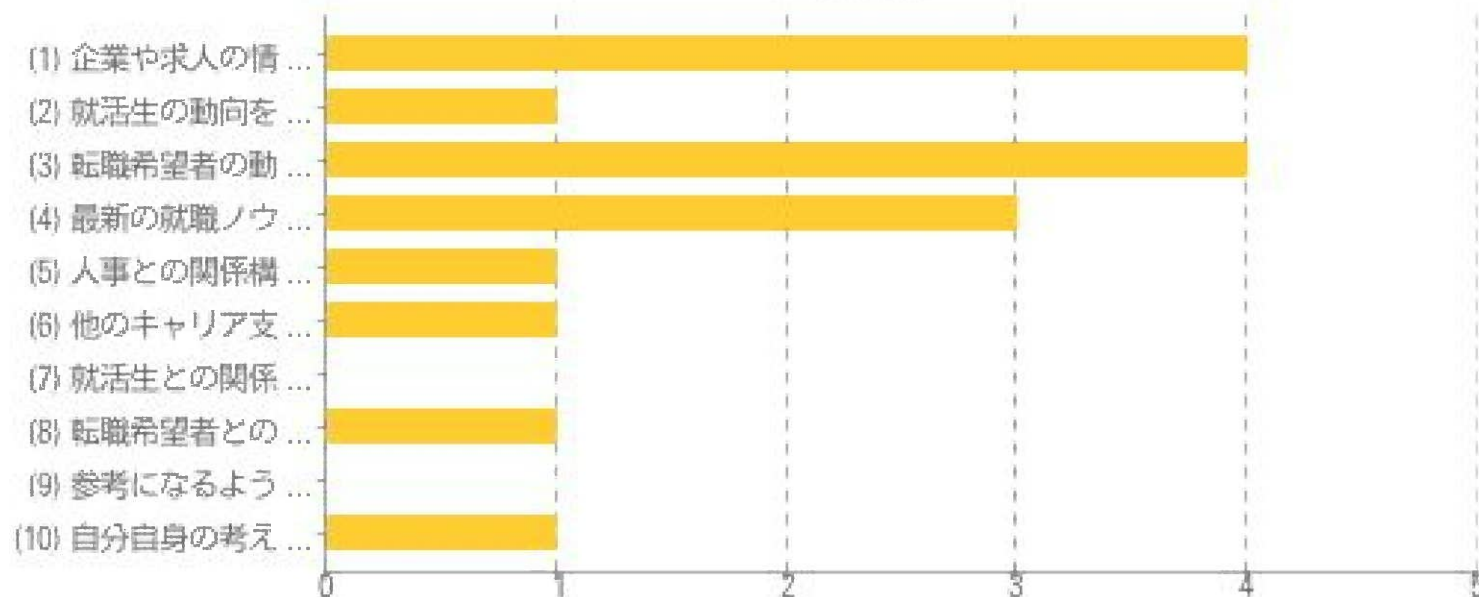
ミクシーの活用者は8人。半数の方が、最新就職ノウハウを調べることに活用されていました。他の意見も総合的に情報収集目的に活用されている方が多いようです。



## ■ 設問 15 (SNS活用度\_LinkedIn)

LinkedInをキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。(複数回答可)

SNS活用度\_LinkedIn



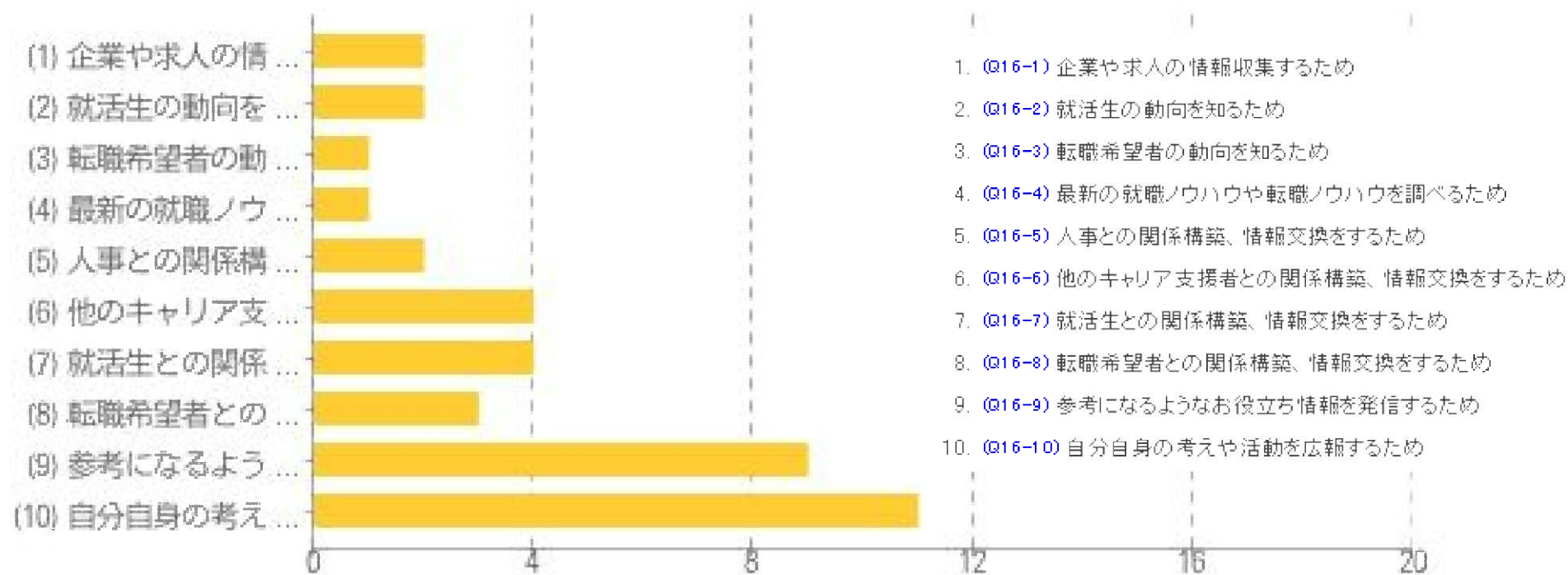
1. Q15-1 企業や求人の情報収集するため
2. Q15-2 就活生の動向を知るため
3. Q15-3 転職希望者の動向を知るため
4. Q15-4 最新の就職ノウハウや転職ノウハウを調べるため
5. Q15-5 人事との関係構築、情報交換をするため
6. Q15-6 他のキャリア支援者との関係構築、情報交換をするため
7. Q15-7 就活生との関係構築、情報交換をするため
8. Q15-8 転職希望者との関係構築、情報交換をするため
9. Q15-9 参考になるようなお役立ち情報を発信するため
10. Q15-10 自分自身の考えや活動を広報するため

リンクトインは7人活用でしたが、そのうちの半数が求人の情報収集と転職希望者の動向調べという目的でした。転職希望者を対象にした活用方法が主な目的となっているのは、リンクトインのみでした。リンクトインらしい活用方法と捉えることができそうです。

## ■ 設問 16 (SNS活用度\_blog)

アメブロなどのブログをキャリア支援に活用している人にお聞きします。活用目的を教えてください。  
(複数回答可)

SNS活用度\_blog

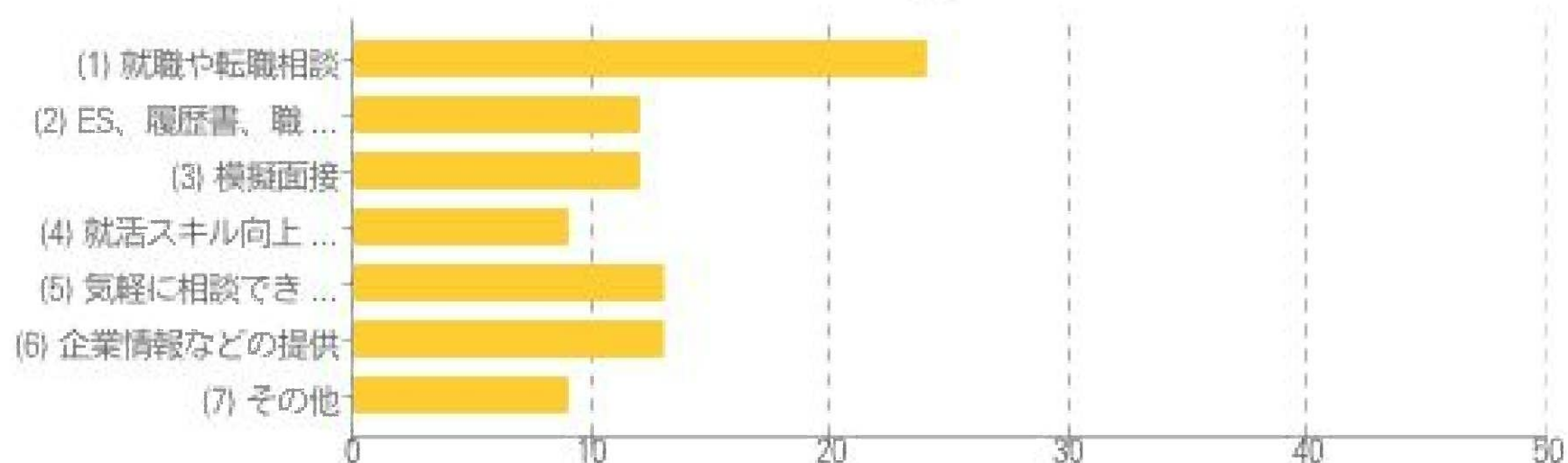


ブログは11の方が活用していましたが、全員の方がご自身の考え方を発信したり、80%以上の方が参考になる情報を発信することに活用されていました。他の項目を大きく引き離していました。

## ■ 設問 17 (SNS活用度\_具体的な行動)

「就活生や転職希望者との関係構築、情報交換」をしている方にお聞きします。具体的にされていることを教えてください。(複数回答可)

SNS活用度\_具体的な行動



1. [Q17-1](#) 就職や転職相談
2. [Q17-2](#) ES、履歴書、職務経歴書の添削アドバイス
3. [Q17-3](#) 模擬面接
4. [Q17-4](#) 就活スキル向上を目的としたセミナーの実施
5. [Q17-5](#) 気軽に相談できる交流会の実施
6. [Q17-6](#) 企業情報などの提供
7. [Q17-7](#) その他

キャリア支援に活用している方が30人なので、就職相談で活用している割合は、80% (24人) になります。他の項目を大きく引き離していました。



## ■ 設問 18 (SNS活用度\_具体的な行動2)

「就活生や転職希望者との関係構築、情報交換」をしている方にお聞きします。具体的にやってみての感想がございましたら、お聞かせください。

信頼関係の積み重ねをしていく上ではツールとして使いやすい。また、リアルでの関係を補完するものとしては有効だと感じる。その他、緊急の情報伝達等にも使用することができ、オフィシャルの学校サービスを補うアンオフィシャルなツールとして日々使用している。

就活に関連する動向や調査などの情報提供を、一方的に提供していたのですが、最近は反応もなくなってきました。わたしが提供する情報の有益性が低下したのか、それとも他に情報源が移ったのか、理由はよくわかりませんが、別の方も同様のことを話していました。自社の職員採用にSNSを使おうと思ったが、誰が就職活動中の学生で、どのような分野を目指しているのか判らない。相手の状況、スキルによって給与条件が異なるのでSNS上に求人票が出しにくい。

メンタル、モチベーションの助けになっているようです

本来、大学低学年次から社会に興味や感心を持って活動して欲しいのですが、実際は大学3年の夏以降でないと、学生さんが動きません。facebookも同じ傾向です。この点、何か仕掛けて行きたいと常々感じます。

FacebookとTwitterとの活用の中で、Facebookを活用している学生の方が就職活動に対する意識が高い感じがする。内容もTwitterとfacebookとで使い分けをしている学生もいる。一方で個人情報やSNSに公開することに対して躊躇する学生も多くいるので、情報リテラシー等をしっかりと伝えていくことも同時に必要でないかと感じています。

リアルタイムで動きがわかる。マナーやモラルのチェック機能としても活用。即、指導ができる。

定期的にtwitterを活用し「twitter就活相談」を深夜帯に行っていますが、twitterの利点としてチャット並みのスピードでメッセージのやり取りができるため、学生にとってもその場で解決でき便利のようです。またこれらの活動により当方としても、いま就活場面で何が起きているかをリアルタイムに知ることができ、マーケティングにも役立っています。

反応は良好。少なからず役に立っていることを実感できて嬉しい。その後も緩やかに長い付き合いになるケースも少なくない。

SNSはあくまでも対面などリアルへつなげるためのインターフェースの一つとして捉えています。そういう意味で活用している人には効果的かもしれませんが、全てを捕捉できる万能ツールにはなっていないと思います。

ネットはライブの扉です。ネットで情報開示が大きければ大きいほど、出会って話す内容は深く広くなります。それを実感しています。スピードがあってよい交流ができます。

SNSを利用している学生のなかでも、使い方にはかなり差があるということ。また、利用している大学に偏りがあるということ。

twitter:就活セミナー告知や就活関連で気づいたことをつぶやくのですが、面識のない就活生からのリツイートや質問がくることもあるので発信の重要性を感じます。facebook:主に講師をしている大学での履修生フォロー用に使っています。大学の講義時だけでなくFBでつながることで講師と学生の距離感が縮まります。

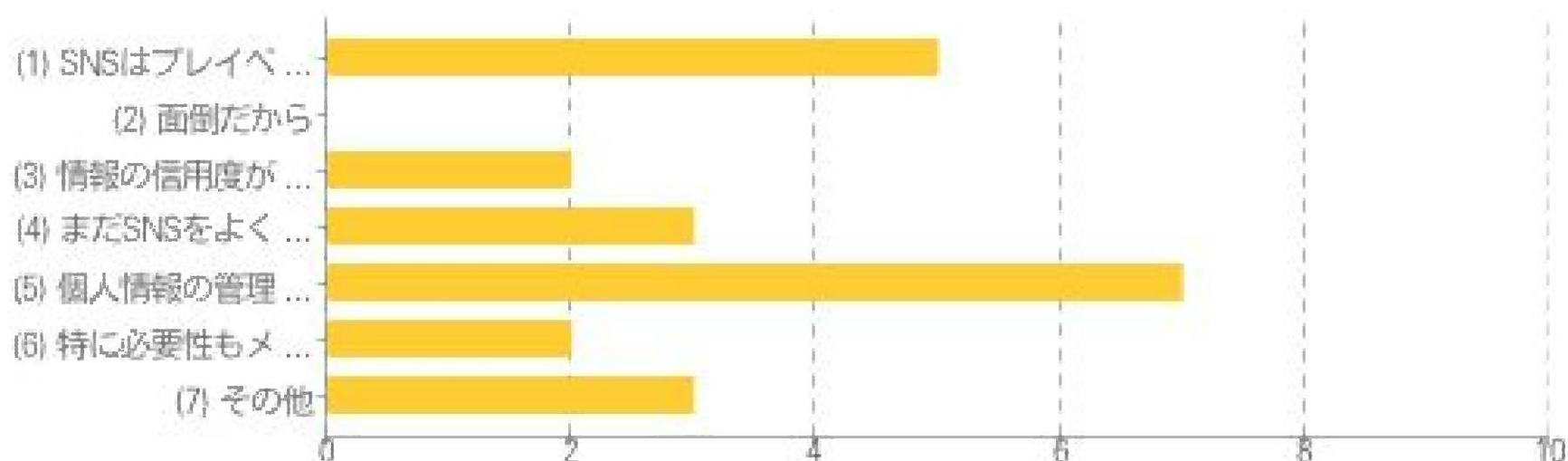
SNSだけに限定せず、SNS+対面での関係構築が、自分にとっても求職者にとってもお互い有効だと感じています。

求職者個人へは、カウンセリングと就労支援。求職者に対しては職業訓練校の講師による就労支援。勉強会等の開催を通じての支援情報交換のツールとして役立っていると思います。

## ■ 設問 19 (SNS活用度\_活用しない理由)

キャリア支援ではSNSを活用されていない方にお聞きします。活用しない理由を教えてください。(複数回答可)

SNS活用度\_活用しない理由



1. [Q19-1](#) SNSはプライベートで使いたいから
2. [Q19-2](#) 面倒だから
3. [Q19-3](#) 情報の信用度が低いから
4. [Q19-4](#) まだSNSをよく理解していないから
5. [Q19-5](#) 個人情報の管理に不安を感じるから
6. [Q19-6](#) 特に必要性もメリットも感じていないから
7. [Q19-7](#) その他

活用されていない方は9人。70%以上の支持を得たのは、個人情報の管理に不安を感じるからという回答でした。また、プライベートで活用したいという意見も半数以上の支持がありました。



## ■ 設問 20 (SNS活用度\_活用しない理由2)

キャリア支援にSNSを活用されていない方にお聞きします。先ほどの回答以外にございましたら、教えてください。

キャリア支援は、支援現場で行うことにしているため。また、公私混同を避けるため。

特に、SNSのような場で不特定多数の学生さんの対応に関わると、こちらの時間管理が難しくなり、不十分な対応になることがある。また、依存心の高い学生さんや、精神疾患を抱えている学生さんなどもまぎれてくる可能性を考えると、個人的なつながりを持って関わることはリスクが高いと考えている。

現在のSNS(fb)は個人活用なので、今後は所属会社公認の支援SNSを立ちあげる予定。

対面でない、どこまで伝わっているのかの判断が難しいと感じているため。

カウンセラーの「倫理」について、しっかりと学んだ者なら、「二重関係」になるリスクのある行動は当然。このようなアンケートがあること自体、キャリア支援者の見識が低い証拠であり、大変嘆かわしい。

ごく限られた属性の方を支援対象としているので、わずかな情報公開でも個人情報の漏えいにつながる可能性がある。情報収集はよいが、情報発信は慎重にしている。